

## 平成28年3月期 第2四半期決算参考資料

### 1. 当第2四半期連結累計期間の業績に影響を与えた主な項目

- 1) 販売体制の強化、首都圏事務所の移転・首都圏開発室の新設
- 2) 創業50周年記念キャンペーン(春)の実施、全国規模のTVCM投入
- 3) 製造ラインの増設、生産性の改善
- 4) 原材料価格の高止まり、円安の進行
- 5) 主力加工品・ブランドミートの販売増加
- 6) 採算性を重視した営業活動
- 7) 食肉相場の堅調な推移
- 8) 物流の効率化、リスク管理の徹底
- 9) 物流費等の増加

### 2. 当第2四半期連結累計期間(平成27年3月1日～平成27年8月31日)の連結業績

(金額単位: 百万円)

	平成28年3月期第2Q	平成27年2月期第2Q	増減率(%)	公表予想	H27/2月期通期
売上高	84,331	74,711	12.9	80,000	155,082
営業利益	3,462	2,285	51.5	3,000	5,240
経常利益	3,463	2,225	55.6	3,000	5,878
四半期純利益	2,183	1,528	42.9	1,800	4,010
EPS(円)	86.06	60.24	42.9	70.95	158.10
ROE(%)	5.1	4.0	27.5	4.1	10.2
ROA(%)	5.0	3.7	35.1	4.0	8.9

### 3. 第2四半期連結累計期間の連結業績推移

(金額単位: 百万円)

	H24/2期 第2Q	H25/2期 第2Q	H26/2期 第2Q	H27/2期 第2Q	H28/3期 第2Q
売上高	68,103	70,008	69,162	74,711	84,331
営業利益	953	△250	137	2,285	3,462
経常利益	1,072	△320	74	2,225	3,463
税引前純利益	1,307	△377	△40	2,444	3,528
四半期純利益	739	△401	△158	1,528	2,183
純資産	37,502	35,504	36,178	38,256	43,426
総資産	63,646	61,206	62,479	67,697	74,957
BPS(円)	1,351.51	1,397.40	1,423.97	1,506.01	1,711.83
EPS(円)	26.69	△15.52	△6.25	60.24	86.06

#### 4. 第2四半期連結累計期間セグメント別の業績比較

(金額単位：百万円)

	平成28年3月期 第2Q		平成27年2月期 第2Q	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
報告セグメント				
加工品事業	33,840	1,523	30,810	1,020
食肉事業	49,694	2,007	42,959	1,346
小計	83,534	3,530	73,770	2,367
その他	797	△68	940	△82
合計	84,331	3,462	74,711	2,285

#### 5. 連結子会社一覧

(金額単位：百万円)

会社名	持分割合 (%)	売上高	総資産	事業内容
米久かがやき(株)	100.0	13,407	8,502	ハム・ソーセージ・デリカ製品の製造
(株)日宏食品	100.0	818	613	ソーセージの製造
米久デリカフーズ(株)	100.0	3,897	3,353	冷凍デリカ製品の製造・販売
国内加工品生産会社計		18,123	12,469	
YONEKYU U.S.A.,Inc.	100.0	1,350	1,457	ソーセージの製造
海外加工品生産会社計		1,350	1,457	
米久おいしい鶏(株)	100.0	6,288	5,256	鶏肉の生産・加工・販売
(株)マルフジ	100.0	1,395	363	牛肉の加工・販売
アイ・ポーク(株)	100.0	2,321	629	豚肉の加工・販売
大洋ポーク(株)	100.0	1,827	839	豚肉の生産・加工・販売
(農)広島県東部養豚組合	-	869	1,208	養豚
食肉供給会社計		12,702	8,296	
御殿場高原ビール(株)	84.9	690	638	地ビールレストランの経営
その他の会社計		690	638	
合計		32,868	22,862	

持分法適用関連会社2社

- ・MIY(株)
- ・ときめきファーム(株)

## 6. 当第2四半期連結累計期間の業績

### (1) 売上高

加工品事業では、ハム等は、本年2～3月に実施した創業50周年記念キャンペーンも奏功し、主力商品のベーコン・焼豚等が好調に推移しました。ソーセージはテレビコマーシャルを全国規模で放映した「御殿場高原あらびきポーク」の売上が大幅に伸長、ロースハムは製造ラインを増設して拡販に注力しました。デリカは、トンカツ・ミートボール・ハンバーグ等の売上が増加しました。トンカツはコンビニエンスストア向け取引が順調に拡大、ミートボールは「米久の肉だんご 黒酢たれ」のテレビコマーシャルを投入して積極的な販促を行いました。

牛・豚・鶏の食肉事業においては、食肉相場が前年を上回る水準で推移し、生産事業の収益が増加しました。また、「六穀豚」「大地のハーブ鶏」「岩手めんこい黒牛」等のブランドミートの拡販に取り組むとともに、簡便性の高い一次加工品「マザーシェフ」のラインナップを拡大しました。加えて、採算性を重視した営業活動に引き続き注力し、収益性の向上に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、加工品事業が338億円40百万円、食肉事業が、496億94百万円となり、全体では前年同期に比べ96億19百万円増加し、843億31百万円(12.9%増)となりました。

### (2) 売上総利益

原材料価格の上昇が続いているものの、製造ラインの増設や生産性の改善により収益力が向上、食肉相場の高値推移も加わり、売上総利益は前年同期に比べ大幅に増加いたしました。以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上総利益は、前年同期に比べ15億62百万円増加し、126億41百万円(14.1%増)となりました。

### (3) 販管費、営業利益

物流費の増加、創業50周年記念キャンペーンの実施などによって販管費が増加し、営業利益は、加工品事業では15億23百万円(前年同期は10億20百万円)、食肉事業では20億7百万円(前年同期は13億46百万円)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の販管費は前年同期に比べ3億86百万円増加し、91億78百万円(4.4%増)となり、営業利益は11億76百万円増加し、34億62百万円(前年同期は22億85百万円)となりました。

### (4) 営業外収支、経常利益

営業外収益が前年同期に比べ19百万円増加した一方、持分法による投資損失は34百万円減少し営業外費用は42百万円の減少となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経常利益は前年同期に比べ12億38百万円増加し、34億63百万円(前年同期は22億25百万円)となりました。

### (5) 特別損益、税金等調整前四半期純利益、四半期純利益

特別利益が前年同期に比べ1億57百万円減少し、特別損失も2百万円減少しました。

これらの結果、税金等調整前四半期純利益は35億28百万円(前年同期は24億44百万円)となりました。なお、法人税等は4億27百万円増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は、21億83百万円(前年同期は15億28百万円)となりました。

## 7. 下半期の業績に影響を与える主な項目

- 1) 創業50周年記念キャンペーン(秋)の継続、全国規模のTVCM投入
- 2) 加工品工場の設備投資、食肉生産事業の強化
- 3) 商品ラインナップの拡大
- 4) 生産性の改善、物流の効率化、リスク管理の徹底
- 5) 原材料価格の高止まり
- 6) TPP交渉の行方
- 7) 物流費の増加、労働力不足の深刻化

## 8. 通期業績予想

(金額単位: 百万円)

	今回予想	前期実績	増減率(%)
	金額	金額	
売上高	185,000	155,082	—
営業利益	6,800	5,240	—
経常利益	6,900	5,878	—
当期純利益	4,000	4,010	—
E P S (円)	157.67	158.10	—

(注1)次期は決算期の変更(事業年度末日を2月末日から3月31日に変更)により、平成27年3月1日から平成28年3月31日までの13ヶ月決算となる予定のため、通期の対前期増減率は記載しておりません。